

教会テーマ

イエスにつながり 互いを受け入れ 御父の家へ ともに歩もう

えたり話したりすることを が嫌われており、それを考 ンバーや友達の死は、大きな す。確かに、例えば家族のメ できるだけ避けようとしま 言葉は人々にその言葉自体 社会の中で「死」という

ないでしょうか。 聖歌の歌詞も浮かぶのでは に、「また会う日まで」という り前です。しかし、キリスト 常に苦しい経験です。当た 葬場での「サヨウナラ」は非 信者は、感情的に自然の悲 「サヨウナラ」を言うと同時 しみを感じながら心の中で

生の旅の目的地でもありま

た体の復活は、私たちの人 心でもあります。そしてま の信仰と希望の礎であり中 くださるイエスは、私たち

復活されて、復活させて

悲しみをもたらします。

火

体

の復活を信じます

協力司祭 ヘネロソ・フローレス

解力をはるかに超える概念 の世界のことです。人の理 はありません。超自然、神秘 体の復活は自然のことで です。分かることが

できない、信じるほ かないのです。でも、 感謝すべきでしょう。 はすべからく信仰に ただいた」という意味 る」というのは、実際 恵みです。「信じてい 成果ではなく、 神のたまものです。 「信仰」はいつも必ず です。だから私たち には「信じさせてい 人の単なる努力の 私自身の話です 神の

> が、 味わうことが好きです。 の中で思い巡らしてそれを るイエスの言葉を特別に心 私は復活させてくださ

終わりの日に復活させる_ 命を得、わたしはその人を しの血を飲む者は、永遠の わたしの肉を食べ、わた (ヨハネ6:54)

ました。「若者よ、あなたに 町の未亡人の息子に言われ 言う。起きなさい」 またイエスはナインという (ルカワ:14)

手を取って『タリタ、クム』と うでした。「そして子どもの

会堂長ヤイロの娘には、こ

The Raising of Lazarus Jan Muller ca. 1600

教会報 MAGIS 11月号

† 2023年 教会祭

 $P2\sim3$

P4

Р5

P6

† 司祭叙階おめでとうございます! 森晃太郎神父、渡辺徹郎神父

†教会活動グループ便り ⑧

†連載 光をつないで 最終回

† Family of St.Ignatius

~スペイン語圏から~

Р7

いた。心から神に感謝いた じている、信じさせていただ る主イエスを、信じたい、信 私は復活されて復活させ

こう言われています。「はっ きり言っておくが、あなたは 今日わたしと一緒に楽園に 十字架の良き強盗には、

(ルカ23:43)

ザロに言われました。「ラザ 口、出て来なさい」 ベタニアのマルタの兄弟ラ (ヨハネ川:43)

わたしはあなたに言う。起き 言われた。これは『少女よ、 なさい』という意味である」 (マルコ5:4)

インターナショナル・ミサ

9つの言語が融和したミサ

司

式の髙祖敏明主任司

2023年 教会祭

さあ、 5 25周年、そしてその先へ~」をテー ともに歩もう

マに

のほかヨセフホール、マリア聖堂、天候に恵まれ屋外でンターナショナルミサの参加者は約1300人。主聖堂れました。4年ぶりに入場制限を設けずに開催されたイ2023年度の教会祭が、10月8日(日)11時から行わ も中継され ネット配信もされました。

午後からは主聖堂でシンポジウム、ワールドユースデー (以下WYD)派遣者による帰国報告会が行われました。 ヨセフホールで献堂25周年シンボルマーク応募作品 教会学校の子どもたちの絵、献堂関連写真や資料 屋外で各共同体の歌と踊りや縁日、 読み聞かせ の全

語)、 語)、栄光の賛歌(スペイン ンドネシア語)、いつくし 堂され、9つの言語で執り と進みました。 ア語)、答唱詩編(ベトナム みの賛歌(日本語・ラテン 祭とともに9人の司祭が入 行われました。 アレルヤ唱(日本語) 第二朗読(ポーランド 第一朗読(インドネシ 入祭唱(イ

ように話されました。 には三つの祈りと願いが込め 祖神父は「教会祭のテーマ られています」として、 福音朗読の後の説教で髙

聖歌隊も各共同体から

言葉に強く現れています。 所に関連してイエスが語った 「一つは、本日の朗読箇

を結び、その実が残るよう スにつながって、よい実を結 にと』(ヨハネ15:16)。 イエ ふことができますように。 私があなたがたを選 あなたがたが行って実

ますように。 もに歩む)を、 にある『ミッション2030』 しています。 (祈り、つたえ、つながり、と 来年の献堂25周年を意識 二つ目。今年の教会祭は そしてその先 促進していけ

シノドスは、聖霊に導かれて うに招かれています。 ことを自覚し、実践するよ シノドスに関わります。シノ いを捧げましょう」 (*「シ ます。シノドスの公式請願 道をともに歩もうとしてい を超えて地球上に住むすべ ドスが重視している教会の ローマのバチカンで始まった 頁参照)。 文をもって聖霊に祈りと願 ての人とともに歩んでいる たちは教会が信徒仲間の枠 ださるイエスとともに』。 基本姿勢は『ともにいてく ノドスのための祈り」は3 時のしるし』を識別する また三つ目は10月4日に また 私

祈り(各言語)、 その後、 使徒信条と主の 共同祈願

各共同体の「シノドス」の

りました。 参加者全員の心が一つにな 象徴する「アーメン・ハレル はインターナショナルミサを で捧げられました。 閉祭唱 日本語・英語および各言語) ナム語)、拝領唱(ヨルバ語*・ ログ語)、 ヤ」(手話付き)が歌われ、 力国語)、 (7カ国語)、 平和の賛歌(ベト 感謝の賛歌(タガ 奉納

シンボルマーク発表 献堂25周年記念

されました(別ー頁に掲載)。 年記念シンボルマークが発表 ミサに続いて、 献堂25周

教会祭シンポジウム

テーマ

〜シノドス的教会に向けて、 あらためて「シノドス」とは みんなで学ぼう~

のものです。 シャ語で「ともに歩む」)そ 宣教」は「シノドス」(ギリ めー交わり、参加、 テーマ「ともに歩む教会のた 会が行われました。 日まで世界代表司教会議 (シノドス)第16回通常総 2023年10月4日~29 今回の そして

> スターがお話しくださいま 歩みについて、 会を目指します。 「ともに歩む」シノドス的 言葉の壁を越えてつながり、 献堂25周年に向けて 神父様とシ

ボニー・ジェームス神父

です。 参加、 司祭、 の共通点は「ともに歩む」 加しています。「交わり、 教の集会でしたが、 昨年までのシノドスは司 シスター、 宣教」3つのテーマ 信徒も参 今回 は

誕生し、 すが、 まれます。この教会のこと きな恵みです。 として考えると、 者同士でも新しいものが生 歩むうちにまったく知らない 語のミサでの祈り、 教会学校でよく話すの 父母が出会って命が 家族として一緒に 9つの言 歌は 大

するのは信仰です。 異なる文化と言語を一つに る日本人の信徒は-259 体の努力が必要とされてい ルは外国人の方が多いです。 人、外国人信徒は1798 と、主日ミサに参列してい 今年度の教勢調査による 毎月結婚するカップ 各共同

【11月の共同祈願】

私たちが神様と周りの人々との

交わりを深めながら、

シノドスの道を

ともに歩むことができるよう、

聖霊の導きを願い求めます。

【シノドスのための祈り】



聖霊よ、わたしたちはあなたの前に立ち、あなたのみ名によって集います。 わたしたちのもとに来て、とどまり、一人ひとりの心にお住まいください。 わたしたちに進むべき道を教え、どのように歩めばよいか示してください。 弱く、罪深いわたしたちが、一致を乱さないよう支えてください。 無知によって誤った道に引き込まれず、偏見に惑わされないよう導いてください。 あなたのうちに一致を見いだすことができますように。 わたしたちが永遠のいのちへの旅を続け、 真理と正義の道を迷わずに歩むことができますように。 このすべてを、いつどこにおいても働いておられるあなたに願います。

御父と御子の交わりの中で、世々とこしえに。アーメン。

ます。

皆さんは何とともに

リアの歩みから「ともに歩

39)に沿って振り返り、マ で山里に向かった」(ルカー:

む」について考えたいと思い

マ「マリアは出かけて、

信徒と参加しました。

WYDリスボン大会に青年

晃太郎神父

歩んでいますか。まず、こ

の答えを考えみてください。

①身に成る(ルカー:38より)

け出し、

人のために奉仕す

る「はい」は、自身から抜

神の望みを知り、

勇気あ

る召命の秘密を理解した人

の返事。 い出す。 受洗した時の「はい」とそれ =受けている恵みに気づく 神への「はい」を思

に答えているか再確認する

④「帰る」が「出かける」 かにしていく 誰かと分かち合い、

かけていく」こと。 喜びを持って帰ったはず。 ではなく、新たにされて「出 る」は元いた場所に戻るの ちで帰って行ったのか。「帰 =喜びの内に帰り、 マリアはどのような気持 ルカー:56より さらに

②「急いで」の2つの意味

はないか。 やる気持ちの2つの意味が トに会って伝えたかったので ある。マリアは早くエリサベ 気持ち、楽しみや期待では 不安やあせりであわてる

とともに出かけていく てどういうことか、 ③確かにする 心の動きを見ながらマリア =「急いで」は自分にとっ 自分の

いも必要だと思います。

化圏の人たちとの分かち合

(ルカー:41より)

それに答える愛があるか。 を確かにする。 一人ではなく、 歩みを通して恵みに気づき たことを確信した。 マリアはエリサベトを訪ね 天使のお告げが本当だっ 神の存在や働き 誰かとのや 信仰の

確 アントニウス・フィルマン

(インドネシア共同体)

同体に入ろうとしています。不安や現実を抱えながら共みんな旅人で、さまざまな 教皇の言葉です。私たちの語で「正直に伝える」)は 共同体のことだと思います。 日本人も同じです。 「パレーシア」(ギリシャ 旅人と

(ルカー:39より) Sr.フロール・フロレー

います。他の小教区グルー ントを進めることを望んで を行ってきました。教会で プ、特に日本人や異なる文 「シノドス」に関連するイベ わたり、 英語グループは6カ月間に

会議と分かち合い

他には ①教会レベルで翻 者を確保する 訳 通 訳

②相談や対話、 ンをとる や『マジス』での情報の発 信を通してコミュニケーショ 英語教会報

課題に取り組んでもらう ④聖霊に耳を傾け、心を開く ③若者(青年会) と子ども 、日曜学校)に役割を与え、

(ベトナム共同体)

700人のベトナム人信徒が 壁があることもあり、「シノ は若者で、 参列しています。 ベトナム語のミサには 日本語や英語の ほとんど

として来日して日本で結 座には45人の子どもがい 国します。それでも信仰講 し、ほとんどが5年以 ベトナム人は技能実習 (内に帰 婚 生

に耳を澄ませたいです。 して、 「やもめの献 率直に伝 金」(ル お

(英語圏)

だと。 きない人が多いですが、 した。 け入れる。 を全部捧げて、 互いに「ありがとう」と言っ の心をイエスが言葉にしま 目してみましょう。 会のプロセスを歩んでいきま て支え合いたい。 21: - ~ 4) でのイエスに 小さな捧げ物しかで本物の捧げ物はこれ すべてを受 持ってる物 旅人の教 やも お

グエン・タン・ニャー神

ドス」について考えるまでに 至りません。

いました。この家族を聖イグ ナチオ教会のメンバーになる 先日はベトナム人祭りを行 *教会のYouTubeチャンネルで「教会祭シンポジウム」の様子をごらんください

叙階式 初

る初ミサを執り行いました。 に集う中国人信徒の皆様と サでイエズス会中国センター 郎新司祭は上野教会12時ミ は思い出多い聖イグナチオ ら主聖堂で菊地功大司教の ともに、それぞれに心温ま 教会の10時ミサで、渡辺徹 祭叙階式が行われました。 者ヨハネ渡辺徹郎助祭の司 ンシスコ森晃太郎助祭と洗 主司式のもと、アシジのフラ 翌24日、 9月23日 どうぞお二人の新司 森晃太郎新司祭 (土・祝)4



祭のためにお祈りください。

神様の粋な計らい?! 晃太郎神父

歩を踏み出しました。 いう間に月日が流れ、3年。 時の衝撃を。それからあっと 壇上から「明日、イエズス会 業式で私が、ヨセフホールの 20-0年3月のリーダー卒 をそろえて話してくれる。 ダーをしていた頃の仲間に 会います。そして、みんな口 入ります!」と挨拶した 祭に叙階され、新たな 聖イグナチオ教会に行く 時々、日曜学校のリー

堂は、自分が人生の生きる 見えなくなっていた時、「イ 意味を失い、未来がまったく 聖イグナチオ教会の主聖

> せないものとなりました。 まり今がある。聖イグナチオ は、自分の召命において欠か 教会での、みんなとの出会い 内され、日学での活動が始 んからリーダー部屋へと案 グナチオ教会でした。アルさ ア神父)に再会したのも聖イ ルさん(アルフレド・セゴビ から上京し、約10年ぶりにア 主聖堂・・・。さらに、地元山 して叙階式も、初ミサもこの 涙した特別な場所です。そ 共におられる」と確信し 口

に計らってくださるだろう しています。神様はどのよう れからの出会いを楽しみに みんな、ありがとう。そし 、聖イグナチオ教会でのこ

●森晃太郎神父 プロフィ

2010年3月入会、修練、哲学を学ぶ 2018年 中間期として広島学院で教える

1986年 9 月 18日生まれ

2020年~ 神学課程に入る 2023年3月 助祭叙階

2023年 9 月23日 司祭叙階

▶叙階の儀「諸聖人の連願

●渡辺徹郎神父 プロフィール●

1987年9月15日生まれ 2013年3月 入会、修練、哲学を学ぶ 中間期生として中華管区に派遣 される。台北の「Magis 青年センター」 でス タッフとして青年司牧に携わりながら、中国 語を学ぶ。

2020年~ 神学課程に入る 2023年 3 月 助祭叙階 2023年 9 月23日 司祭叙階

仕えるために

エス・キリストは

かに

渡辺徹郎神父

中間期を台北で、神学期をは修練期・哲学期を東京で、 東京とマニラで過ごしまし 台市です。イエズス会の養成 申します。出身は宮城県仙 イエズス会の渡辺徹郎と

リックコミュニティーであり、 エズス会中国センターとは 年活動に携わっています。イ ミサや種々の活動を行ってい 上野教会にある中国語カト 国センターでの司牧活動や、 科で倫理神学について研究 するかたわら、イエズス会中 Magins巡礼者」という青 す。また、「Magins巡礼 現在は上智大学神学研究

とです。

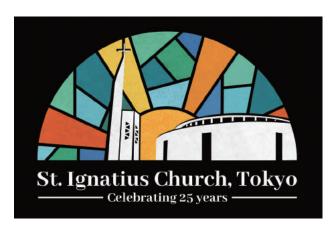
お願いいたします。

今後ともどうぞよろしく

内の岐部ホール40-号室では聖イグナチオ教会敷地をもつ青年グループで、日本 います。 宰する世界的ネットワー 対象としたイエズス会が 者」とは18~35才の で土曜日を中心に活動して ク 主

国料理、ガチ中華と呼ばれきなのはベトナム料理や韓的に好きです。最近特に好す。アジア系の料理が全般 夢は他の箸文化圏の国々の るリアルな中華料理で 韓国語)をすべて習得するこ 言語 (ベトナム語・中国語・ 緒にご飯を食べることで 趣味は語学学習、 友 す。

献堂 25 周年記念事業 シンボルマーク 決定!



7月から9月にかけて募集していた献堂25周年記念事業のシンボルマークを選定し、10月8日(日)の教会祭で発表しました。神さまからのたまものを存分に発揮した、9名の皆さんより素晴らしい作品が寄せられました。

力作揃いの中、紙一重の非常に難しい選考となりましたが、Joanne Lopes さんの作品が、シンボルマークとして選ばれました。

来年度の献堂 25 周年記念事業において、選ばれた 作品を中心として、いろいろな場面で活用していきます。

● Joanne Lopes さんがシンボルマークに寄せたメッセージ

聖イグナチオ教会のことを思う時、私の心に最も響く言葉は「シェルター」です。新しい国に来ることはしば しば孤独な経験となりますが、私は、教会の中にいて、ここが霊的な避けどころというだけではなく、手を広げて 私を歓迎している共同体であると気づきました。

初めて主聖堂に足を踏み入れた時、最初に私の心をつかんだのは壮大なステンドグラスでした。それは、聖堂の美しさと教会が私たちの生命にもたらす光の象徴です。私たちの会衆が織りなす多彩で多様なタペストリーを表すステンドグラスに触発されて、シンボルマークの基礎となる発想を得ました。

日が昇るイメージは東京へのオマージュ(敬意)であり、前景に目立たせてあるのは、教会の敷地を飾り、私たちの愛する共同体の心と魂を表した2つの象徴的な建物です。

多数のご応募、ありがとうございました!



▲ファレリ・アウレリ アさんの作品

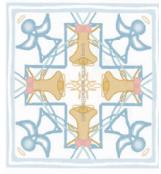


St. Ignatius Church, Tokyo Celebrating 25 years

▲ Kristine Ashley Raymundo Doble さんの作品



▲ Perrinald Endaya さんの作品



▲ Bernice Luk さん の作品



▲まなべ りささんの 作品



▲まつむら さよこさん の作品



▲森 義純さんの作品



▲吉川 淳さんの作品

※アルファベット順

2023 年教勢調査

実施日	9月24日(日)	9月30日(土)	10月1日(日)
天候	晴れ	曇り 時々雨	曇り

●主日ミサの参加者

受けた人 受けながうた人 16:30 男 34 1 0 3 9月24日 マリア聖堂 女 30 0 1 3 インドネシア語 合計 64 1 1 6	計
9月24日 マリア聖堂 女 30 0 1 30 インドネシア語 合計 64 1 1 6	
インドネシア語 合計 64 1 1 6	35
	31
18:00	66
	38
	60
日本語 合計 228 13 7 2	48
	36
主聖堂 女 72 2 6	30
日本語 合計 103 6 7 1	16
8:30 男 79 4 1 8	34
主聖堂 女 172 5 1 1	78
日本語 合計 251 9 2 2	62
10:00 男 93 9 6 1	80
主聖堂 女 266 15 12 2	93
日本語 合計 359 24 18 4	01
12:00 男 197 24 53 2	74
主聖堂 女 378 41 71 4	90
英語 合計 575 65 124 7	64
12:30 男 10 1 9 2	20
10月1日 マリア聖堂 女 24 1 7 7	32
ポルトガル語 合計 34 2 16 5	52
13:30 男 28 2 0 3	30
主聖堂 女 68 2 0	70
スペイン語 合計 96 4 0 1	00
15:00 男 170 80 92 3	42
主聖堂 女 238 85 87 4	10
ベトナム語 合計 408 165 179 7	52
16:00 男 13 4 9 2	26
マリア聖堂 女 24 2 12 3	38
ポーランド語 合計 37 6 21 6	64
18:00 男 63 8 2	73
主聖堂 女 129 20 10 1	59
日本語 合計 192 28 12 2	32
男 793 146 177 1,	116
→ □ ¬ ₩ △ ₹	941
主日ミサ合計 女 1,554 177 210 1,5	057

主日ミサ参加者数



●教勢調査の結果

9月24日(日)、30日(土)、10月1日(日)の3日間にわたり、 今年度の教勢調査を、各主日の聖堂係のご協力で実施しました。

ミサ出席者は、3,057人(昨年度は1,698人)でした。

2005年以降、最多のミサ出席者4,518人を記録した2016年に 比較して67%まで回復しています。

注目すべきは、2016年もそうなのですが、外国語ミサ出席者が日本語ミサ出席者よりも増えていることです。

活動グル ブ便り

各活動グループから、現在の活動状況の報告です

これまでの歩みと主な活動

当時の主任司祭ヨハネス・ベ ら実行まで分担して幅広く 足。会員は36歳以上の男子。 チコフェル神父様を顧問に発 活動していた。 仕、教会行事などの企画か 会の方針を受けて、典礼奉 会、女子青年会が、教会委員 壮年会は1966年1 壮年会、マリア会、青年 月

奉仕、教会行事支援は続け 囲は絞られていったが、聖堂 ため、壮年会としての活動範 動グループ」が生まれ、その たくさんの奉仕グループ「活 動」の結果、新聖堂建設後、 設準備に合わせて、「意識の 人一役、PT*!、SPT*2活 転換」運動が始まった。「一 ー996年ころ新聖堂の建 グループが立ち上がり、 その後、いくつかの奉仕

の支援

られ、現在に至っている。

〈主な活動

問題についての意見交換 換や教会の運営などについ ての意見交換 は毎月ヘネロソ・フローレス神 委員の輩出による教会運営 ☆教会委員長や多数の評議 ☆教会と接点を持つ社会の ☆メンバーの幅広い情報交 父の講話、マリア会と合同) ☆聖書と典礼の勉強(現在

外誘導 委員会から要請された活動 ☆その他、教会委員会、評議 会祭バザーの場内警備 ☆クリスマスミニバザー ☆クリスマスイヴのミサの場 ☆主日8時3分ミサ聖堂奉仕 や教

数が減少しています。皆様の 入会をお待ちしております。 最近は、高齢化により会員

SPT:サブプロジェクトチーム*2 PT:プロジェクトチーム

に初めて参加される方は、講座担当者か教会事務室にご確認ください。※活動グループの活動内容・スケジュール等は変更になることがあります。また講座

t マリア会

く為の準備の仕方を、元気 き生きと老後を暮らしてい

新企画「終活セミナー」も マリア様を大切に…

いも盛んなグループです。 が広く、意見交換や助け合 様ご指示のもと、マリア会は 活動を始めました。年齢層 ヘルマン・ホイヴェルス 神父 教会が献堂されてまもなく ー947年に聖イグナチオ

神父様、先日姫路に移られ たり聖歌を歌い、フローレス います。月一回の例会では、 頒布等で教会をお助けして は色とりどりの可愛らしい の聖堂係を務め、復活祭に 話で心を育てていただいてい たシスター景山あき子の講 皆でロザリオの祈りを唱え から贈られた献品の仕分と 布をします。バザーでは皆様 イースターエッグの作成と配 負けずに主日8時30分ミサ 現在の活動は、コロナにも

もに迷惑をかけたくない高 ながら「おー人様」や「子ど 活セミナー」があります。栄新しく始めた活動に「終 齢のご夫妻」が安心して生 に多大なご協力をいただき 光式典社、帝都典礼の両社

なうちに学びます。今年の 都典礼は6月11日にご好評 「終活セミナー」について、帝

ご参加ください。 体の一員として務めて参り のお導きのままに、教会共同 な学びの場に是非お気軽に のうちに終了いたしました。 ア様を大切にして、イエス様 分から開催予定です。貴重 又、栄光式典社は11月12日 日)アルペホールで10時30 マリア会はこれからもマリ

.信徒養成講座ボニー・ジェームス神父

「聖書と典礼」を読む

ています。

集います。 います。現在、20名弱の方が 集いを約4年前から続けて み、ボニー神父の講話を学ぶ 「聖書と典礼」の福音を読

を読みます。その後、 り、質疑応答の時間も設け 間、ボニー神父の講話があ 聖歌を歌い、その週の福音 まず、参加者一同で祈り、 、約50分

る時には、聖堂入り口で「聖 通常、私たちがミサに与

> います。これでは事前の準備 の進行にともない朗読を耳 書と典礼」を受け取り、ミサ いえない場合もあります。 不足のため理解が万全とは で聴きながら目で活字を追

ミサの前に、朗読箇所を

ます。 くことに集中できれば心に めておき、ミサ中は朗読を聴 繰り返し読み、学び、心に留 響く感動は一段と深くなり ボニー神父の講座で学び

感しています。 る前の準備の大切さを、実 を重ねるにつれて、ミサに与

場所:岐部ホール309 日時:每月第一土曜日 参加希望の方をお待ちし 10時30分~11時30分 ||月のみ第2土曜日



連載 の信仰と教会の歩みの 光をつないで 最終回 証

伺いました。 話を聞くことで、神とともにこれからの人生を歩むための 回目は、当教会信徒マリア・インマクラータさん(8歳)に ントを得ることを目的とした連載です。最終回である10 :仰上の諸先輩からその人生と神との交わりについての 「光をつないで」は、当教会の青年信徒が聞き手となり、 ※語り手の名前は洗礼名

かけは何ですか? -キリスト教を知ったきっ

思議なことです。 がありましたが、中学生の 知らなかったはずなのに、不 キリスト教の教派の違いも した。仏教徒の家庭で育ち、 ミニコ会の教会に通い始めま ミニコ会の)教会とは随分、 に参加しました。そのときに ミニコ会の教会に行ったこと じ、それがきっかけとなり、ド 雰囲気が違うんだな」と感 テスタントの教会の集まり 自分の知っているあの(ド 友人に誘われ、別のプロ 森県出身で、近所の F

な大学があるのだと憧れま と聞いて、東京にはそのよう トリックの大学に進学する た年上の人たちが、東京のカ 当時ミサで侍者をしてい

> からは聖イグナチオ教会に した。高校卒業後、私も上京 業で働きました。上京して し、夜間学校に通いながら企

旧洗礼堂での洗礼式

神父様の後を歩きました。 トラにつかまり、列になって 者たちとともに神父様のス えています。前室で他の受洗 です。洗礼式のことはよく覚 受洗したのは20歳のとき



▲洗礼堂にあったステンドグラス

通いました。

そのようにして教会事務室 いになってしまいましたが、 を一つ置いたら部屋がいっぱ 形の簡易な兵舎で、事務机 米軍から譲り受けた半円筒 カマボコ兵舎と呼ばれる は、魚の模様などが描かれて 各面の青いステンドグラスに ました。心の底からの決心で まり、自らの信仰と受洗の 途中ところどころで立ち止 した。洗礼堂は聖堂に隣接 した。その度に「はい」と答え 意志に関する質問をされま 歌を歌いました。 と私の3人で大きな声で聖 の仕事は始まりました。洗

呼ばれ 「ここで働きなさい」と

いました。

した美しい八角形の間で、

ヨハネス・ベチコフェル神父 の頃はホイヴェルス神父様と き受ける人が必要になってい くという体制だったことも にいて、訪れる人の告解を聞 ちどちらかは一日中告解室 様のお二人で教会を取り仕 の事務員となりました。そ に言われ、聖イグナチオ教会 神父様に、教会で働くよう あったヘルマン・ホイヴェルス あり、事務仕事を専任で引 切っていました。お二人のう やがて当時の主任司祭で

して駆り出され、神父様方 た時には、即席の聖歌隊と が不在中、結婚式が行われ 訳してもらいました。聖歌隊 ラテン語で、神父様に頼んで 礼証明書などの書類はまだ

残っていることは? 教 会での仕事で心に

いました。 クです。仕事は僧侶です」と る時、「私の宗教はカトリッ 兄に代わって実家の寺を継 洗したにも関わらず、亡き 皆真剣に信仰の道を歩んで 信仰告白するのを聞きまし 青年がいました。教会を去 ぐために郷里に帰っていった を目にしました。自分は受 た。年齢の若さに関係なく、 さまざまな人の深い信仰

静かに式が行われました。家 を訪ねるのです。本人たち 対により公然と秘跡を授か 度々ありました。周囲の反 や結婚式が行われることも 着のまま神父様の部屋で、 の意志を確認すると、普段 れない人々が、夜中に神父様 夜中にひっそりと洗礼式

> あったのです。 そんなことは当時たくさん 跡を望んで教会を訪れる、 婚式の前夜に本人たちが 族が決めた神道や仏教の 秘結

ランティアなど、よき思い出 と、皆で企画した国内外への 豪華な衣装が届いた時のこ ていっぱいです。 巡礼や児童養護施設でのボ 能舞台「復活のキリスト」の 教会バザー用品作りや、

たちが、一つの大きな家族と 聖堂献堂25周年を迎える私 の意を表するとともに、 たすべての方に改めて感謝 取材を受け入れてくださっ 仰を生きているかを知った。 にしてキリストと出会い、信 してキリストのうちに一致 教会に集う人々がどのよう で歩み続けられるよう祈り し、先達の信仰を受け継い 全口回の連載を通して、 現

いるが、聞き手として活動で の信仰の歩みを聞き、後世に 語り継いでいきたいと考えて これからも個人的に人々

の時」であった。 祝福された、「恵み きたこの一年間は 私にとって本当に



Family of St.Ignatius

さんか ~スペイン語圏から~ スペイン語のミサに参加したことがありますか?

スペイン語圏の共同体は、毎週日曜日の13時半に 集まり、主の日を共に祝います。このミサに参加したこ とのある人は、聖歌隊の歌声で盛り上がる典礼の中で、 になる。 ようで おっとができす。 信仰の喜びを分かち合うことができす。

入祭の歌から最後まで、一週間の間に神が与えてく ださったすべての恵みに感謝しながら共に集うことがで きる喜びが反映されています。それゆえ、主に陽気なり ズムは、私たちの父である神の心に向けられるような、 人の心から湧き上がる喜びの感情を歌詞とともに伝える

このではなり。

coを取除は、様々な国籍の人々で構成されており、 そのような多様な人々の中で最も印象的なのは、平和と 一致の雰囲気の中で、典礼の歌唱を通して教会に奉仕 したいという彼らの願いです。

ミサの各曲は、それぞれが神との出会いのために より深く、より親密な雰囲気を作り出そうとする情熱を表 現しており、同時にミサに参加する共同体全体の間に 喜びの風土を作り出しています。

まだスペイン語のミサに参加したことのない方がいらっ しゃいましたら、ぜひ一度参加して、この共同体とともに、 祈りと分かち合いを体験してください。

セントロ・ロヨラ |

ミッション 2030 黙想と分かち合い

~祈り・つたえ・つながり・ともに歩む~ 小さな分かち合い

「あわれみ深い母である教会」

開催日時:11月5日(日)13:30~15:30

場 所: ヨセフホール プログラム: ①サトルニノ・オチョア神父の講話

②默想

③分かち合い

献堂25周年を迎えるにあたり、「私たちにとって教会と は」をテーマに、オチョア神父さまからお話ししていただきます。教会の意味、教会の恵みなどについて理解を深め、信仰をより豊かに育んで参りましょう。

*詳細は教会ホームページ、ポスター・チラシでご確認 ください。

●2023年クリスマスミニバザーのお知らせ●

開催日:11月26日(日)、12月3日(日) 時 間:8:30ミサ終了後~13:30

- ・感染予防対策を徹底し、小規模ミニバザーとして、屋 外にて実施します。
- ・10グループの出展を予定しています。

*出展申込みはすでに締め切りました。

*バザー頒布用献品と手作り食品は受け付けていません。

献金は聖イグナチオ教会を通じ、困窮地域支援に充て られます。送り先は後日お知らせします。皆さまのご協 力をお願いいたします。

クリスマスバザー実行委員会

●教会黙想会●

時:11月23日(木・祝)

13:00 ~講話・黙想・霊的対話 16:00 ~ミサ

所:主聖堂

(霊的対話は各部屋に分かれて行います)

テーマ: 「あなたに、話がある

~教皇フランシスコが目指すシノドス的教会」

指 導:ホアン・アイダル神父(イエズス会)

事前予約不要、YouTube 配信あり。

*詳細は教会ホームページ、ポスター、チラシをご覧く ださい。

●クリスマスイヴのミサ時間●

本年12月24日は日曜日です。待降節第4主日ミサを午 前中に行ったあと、下記時間でクリスマスイヴミサを行 います。

クリスマスイヴミサ時間:15:00 17:00 19:00 21:00(英語)

*参加方法などの詳細はホームページ、チラシでご確認 ください。

●財務報告●

9月24日(日)「世界難民移住移動者の日の献金」 908,185円は、日本カトリック難民移住移動者委員会を 通じて、幅広く支援に役立てられます。

11月の典礼と行事

			『社会問題とカトリック教会の考え 2023年度連続セミナー』
			「シノドス」ともに歩む教会を目指して 18:30 ヨセフホール
1	(水)	諸聖人の祭日	シノドス対話の実践③ 交わり、参加、共同責任、ともに教会の一員として
			「交わり、参加、そして共同責任」(大陸ステージ文書 3-3)講師:ボネット・ビセンテ神父、
			森本真由美氏 他シノダるチーム
2		死者の日	死者の日ミサ 7:00 12:00 18:00
3	(金)	初金曜日	
4	(土)		2022年度合同追悼ミサ(第 2 回) 10:00 主聖堂
4	·—,		七五三祝福式 15:30 主聖堂
5	(日)	年間第 31 主日	ミッション2030 黙想と分かち合い 13:30 ヨセフホール
8	(zk)		傾聴ルーム 11:15 ~ 15:00 ヨセフホール
O	(/1/)		水曜ティーサロン 12:00ミサ後
			子どもとともにささげるミサ 10:00
			日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00 ~ 12:30 ヨセフホール
12	(日)	年間第 32 主日	ミサがわかるセミナー 13:00 ヨセフホール
			年間テーマ「ミサを通して神を学ぶ-新しい式次第とともに!」
			今回テーマ「全能永遠の神」 講師:石井祥裕氏
			クリプタに安置され11月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00
			『社会問題とカトリック教会の考え 2023年度連続セミナー』
15	(7K)		「シノドス」ともに歩む教会を目指して 18:30 ヨセフホール
13	(/[/)		シノドス対話の実践④ 神の民である教会は、ともに歩む形をつくる
			「シノダリティが形になる」(大陸ステージ文書 3-4) 講師:原 敬子氏、宮崎正子氏 他
			シノダるチーム
18	(土)		新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 15:00 ヨセフホール
			教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール ミャンマーデー
19	(日)	年間第 33 主日	貧しい人のための世界祈願日
			聖書週間(19日~26日)
22	(zk)		傾聴ルーム 11:15 ~ 15:00 ヨセフホール
	` - '		水曜ティーサロン 12:00 ミサ後
_	(木)		教会黙想会 13:00 主聖堂
24	(金)		聖フランシスコ・ザビエルの取り次ぎを願う9日間の祈り(~ 12 月 2 日まで)
_		王であるキリストの祭日	クリスマスミニバザー 9:30 世界青年の日
28	(火)		オルガンと祈り 19:00 主聖堂
30	(木)		ヤングオールド映画会 「天使にショパンの歌声を」 13:00 ヨセフホール
			・

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。

主任司祭: 髙祖 敏明

助任司祭:ボニー・ジェームス

グエン・タン・ニャー サトルニノ・オチョア

柴田 潔

協力司祭:ヘネロソ・フローレス

ハビエル・ガラルダ

関根 悦雄

マヌエル・シルゴ

シスター:イベッテ・サンチェス (セントロ・ロヨラ)

フロール・フロレーセ

(ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel 7:00/12:00/18:00

【土、日曜日 Saturday & Sunday】 主聖堂 Main Chapel 土曜 18:00 日曜 7:00/8:30/10:00/18:00

12:00 (English) /13:30 (Español) /

15:00 (Việt Nam)

【月の第1日曜日 1st Sunday】 Our Lady's Chapel

12:30 (Português) /16:00 (Polski)

【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

カトリック麴町教会(聖イグナチオ教会)

〒 102 - 0083 千代田区麴町 6 - 5 - 1

TEL 03 - 3263 - 4584 FAX 03 - 3263 - 4585

http://www.ignatius.gr.jp





ホームページ

フェイスブック

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。